

# ePass2001



## コストパフォーマンスに優れた高機能USBトークン

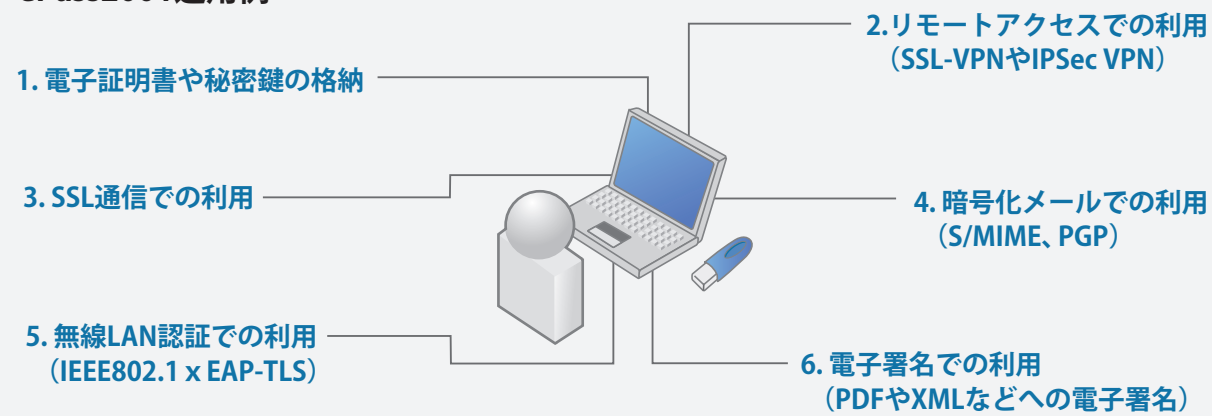
- 2048bit RSA対応でセキュリティレベル向上
- 電子証明書/秘密鍵のセキュリティを低コストで向上
- 高速スマートカードチップを搭載し、高機能・高セキュリティを実現
- PIN番号(暗証番号)とUSBトークンによる二要素認証を実現



## 電子証明書をセキュアに格納するUSBトークン

ePass2001は、高速スマートカード・チップを搭載した製品で、通常スマートカードとカードリーダーのセットで実現される機能を本体一つで実現することができます。また、スマートカード・チップの技術により複製が困難なため、安心して携帯頂くことができます。VeriSign、Entrust、Betrustedなどの主要な認証局の電子証明書をはじめ、CheckPoint VPN-1、Cisco VPN3000、NetScreenなどの様々な製品をご利用される際の電子証明書や秘密鍵の格納に対応しています。さらに、秘密鍵をUSBトークン内で生成することができます。弊社が提供しているSDKを利用して、既存のセキュリティ・アプリケーションへの統合や、新規開発が容易に行えます。

### ePass2001適用例



## ePass2001の製品特徴

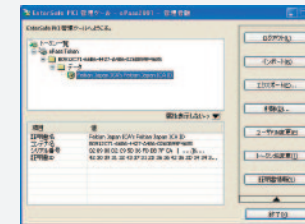
- ・PKI秘密キー生成の高速化(当社従来製品対比2.6倍)
- ・PKCS#11、MS CAPI、ISO7816-3 and 4 compliant等、各種標準に準拠
- ・スマートカードチップを搭載し、オンボードでPKI処理(電子署名/暗号計算)を実現
- ・複数の秘密鍵・公開鍵の格納に加えて、ルート証明書や中間証明書をそれぞれ格納する事が可能

### ■ 容易な証明書管理

ePass2001USBトークンに証明書を格納するには、ブラウザから直接行う方法と、PCに保存された証明書ファイル(PFX、P12、P7B、CERなど)を付属の管理ツールを利用してインポートをする方法があります。

### ■ 証明書を管理ツールから直接インポート

ePass2001USB管理ツール(下図)では、証明書のインポート以外に、証明書の管理、PIN番号の変更、USBトークン名の変更、ロックの解除、USBトークンの初期化などを行う事ができます。

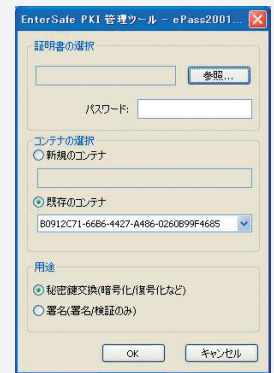


### ■ ブラウザ経由の直接インポート

ブラウザ経由で証明書を発行した場合、直接ePass2001 USBトークンに格納する事ができます。

### ■ 付属ツール類は日本語対応

付属する管理ツールなどは日本語に対応しております。



## ● 製品仕様

	ePass2001
サポートOS	32bit : Windows 2000, XP, 2003, Vista, 2008, 7, 8 (※1) 64bit : Windows XP, 2003, Vista, 7, 8 (※1) Linux Mac OS X (※2)
対応標準	PKCS#11, MS CAPI, X.509 v3 Certificate Storage, SSL, IPSec/IKE, ISO/IEC 7816, PC/SC
内蔵暗号化アルゴリズム	RSA 1024/2048bit DES, 3DES, AES, SHA-1, SHA256, SHA384, SHA512
API	Microsoft Crypto API (CAPI) PKCS#11
内蔵プロセッサ	8bit スマートカードチップ
内蔵メモリ	32KB
書き換え寿命	100,000回以上
メモリデータの保存期間	10年以上
コネクタ	USB 1.1/2.0, Connector type A
インターフェイス	HID
消費電力	320mW 以下
動作温度	0℃~70℃
保存温度	-20℃~85℃
保存湿度	0~100% (結露なきこと)
認定	RoHS, CE, FCC

(※1) 連続初期化ツールおよび電子証明書格納ツールはWindows 8には未対応です。  
(※2) 対応バージョンはお問い合わせ下さい。

詳しくは、WEBサイトでもご覧頂けます。 <http://www.ftsafeco.jp/>